

グッドルーザーの精神

■なぜグッドルーザーを学ぶのか？

現在、少子化・核家族化によって地域社会の交流が希薄になってしまったことで、他者や弱者を思いやる心、優しさや協調性、連帯感など、社会生活をするのに必要な人間性を自然に育める機会や場が非常に少なくなっています。そこで、スポーツを通じて体を丈夫にするだけでなく、目標に向かって努力する意欲を培い、仲間意識や責任感、犠牲的精神、リーダーシップ、社会性といったものを育む機会が必要なのです。

現在の勝利至上主義は、ともすると多少ずるいことをしても、あるいはアンフェアなプレイをしてでも、勝ちさえすれば許されるという誤った意識を生んでしまう恐れがあり、子供の試合などでも、大人が一生懸命になるがあまり、平気で相手に対し野次をとばしたり、応援しているチームに対しても子供の失敗を責めてしまう指導者や親が多くいるようです。それでは、スポーツマンシップを育むどころか、自立心や意欲、失敗を恐れない強い気持ちまで削いでしまいます。

そこで、グッドルーザー＝勝っても負けても、相手を思いやれる大きな心と強い精神力を身に着けることが必要とされているのです。

青少年が今学ぶべきは、「良き勝者であり、良き敗者」の精神なのです。

■グッドルーザーの伝え方

一般社団法人日本サッカー名蹴会の公式に行われているサッカークリニックを開催いたします。名蹴会の方より、グッドルーザーの精神についてのレクチャーを受け、その後実施する試合でグッドルーザーの精神を意識しプレイいただきます。その後アフターマッチミーティングを行い、試合を通じて真剣勝負で戦ったチーム同士が、互いを認め合い、尊重しあえる時間を設けます。そうすることで、実体験を持ったグッドルーザーの精神の理解と習得が可能になると考えています。

